

授業概要

本講義は、法人税法の基本的な知識を修得するとともに、法人税法と企業会計との関係を明らかにし、法人の企業活動と法人税との関係について考えることができる能力を養うことを目的とする。講義の中では、必要に応じ、税務専門家の観点から、実務上の注意点や問題となっている事項を取り上げたり、タイムリーな話題となっている事項にも触れて講義を行う。

授業計画

| | |
|--------|-------------------------------------|
| 第 1 回 | 税務会計論とは |
| 第 2 回 | 法人税の意義等 |
| 第 3 回 | 法人税の納税義務者 |
| 第 4 回 | 法人税の課税所得 |
| 第 5 回 | 法人税と企業会計の関係等 |
| 第 6 回 | 法人税の課税標準その 1 - 益金の額に算入すべき金額 (原則) |
| 第 7 回 | 法人税の課税標準その 2 - 益金の額に算入すべき金額 (無償取引等) |
| 第 8 回 | 法人税の課税標準その 3 - 損金の額に算入すべき金額 (原価) |
| 第 9 回 | 法人税の課税標準その 4 - 損金の額に算入すべき金額 (費用) |
| 第 10 回 | 法人税の課税標準その 5 - 損金の額に算入すべき金額 (損失等) |
| 第 11 回 | 申告納税制度と法人税 |
| 第 12 回 | 同族会社 |
| 第 13 回 | 法人税の課税所得の計算 |
| 第 14 回 | 法人税額の計算 |
| 第 15 回 | 総まとめ |
| 第 16 回 | 期末試験 |

到達目標

1. 法人税法の基礎を身につけるとともに、法人税と企業の経済活動とのかかわりを理解する。
2. 企業会計と法人税法との関係を理解する。
3. 法人税の所得金額と法人税額の基本的な計算ができるようにする。

履修上の注意

企業会計の立場から法人税の仕組みを学習するため、基礎的な簿記・会計の知識があることが望ましい。

予習・復習

予習は特に必要ないが、毎回の授業後の復習は必要である。

評価方法

期末試験 (70%)、授業内レポート等 (30%) で評価する。授業への貢献により加点することがある。

テキスト

- ・教科書名：(第 3 版) 要点解説 税務会計基礎講座
- ・著者名：平野嘉秋
- ・出版社名：一般社団法人大蔵財務協会
- ・出版年 (ISBN)：978-4-7547-2564-8